もっと　知ろう　みんなの議会

中城村

議会だより

題字：中城小学校6年　宮　城　愛麗（あいり）

めんそ～れ～
世界のウチナーンチュ大会
中城人交流会（なかぐすくんちゅ）

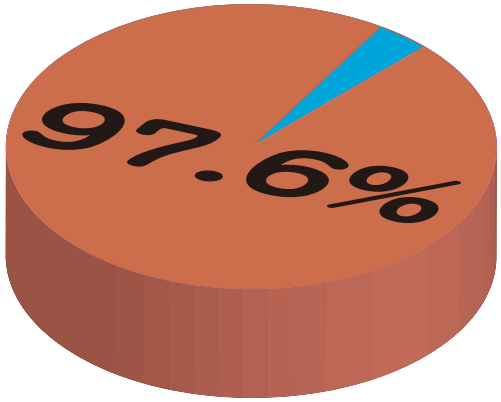
Vol.49

写真
琉球舞踊など歓迎のセレモニーが行われ240名余の参加者の交流がありました

平成27年度決算認定

平成27年度に中城村が使ったお金

平成28年度9月定例議会
（平成28年9月9日～9月29日）



執行率 97.6%

認定 認定第1号

一般会計歳入：88 億 4,488 万 2,004 円　差引残額：2 億 1,244 万 4,203 円

決算額：86 億 3,243 万 7,801 円

特別会計総額：46 億 4,360 万 5,978 円

国民健康保険特別会計
認定 認定第2号

国保の診療に使ったお金

歳入：29 億 1,376 万 9,992 円
歳出：28 億 2,537 万 4,698 円
差引：　8,839 万 5,294 円

後期高齢者医療特別会計
認定 認定第3号

高齢者の医療に使ったお金

歳入：1 億 2,481 万 7,732 円
歳出：1 億 2,338 万 1,658 円
差引：　143 万 6,074 円

公共下水道事業特別会計
認定 認定第4号

生活排水を適切に流すために使ったお金

歳入：3 億 6,180 万 3,987 円
歳出：3 億 5,812 万 9,446 円
差引：　367 万 4,541 円

土地区画整理事業特別会計
認定 認定第5号

地域をより住みやすくするために使ったお金

歳入：7 億 1,958 万 3,876 円
歳出：5 億 6,383 万 4,065 円
差引：1 億 5,574 万 9,811 円

汚水処理施設管理事業特別会計
認定 認定第6号

地域の生活排水処理に使ったお金

歳入：499 万　823 円
歳出：337 万 3,234 円
差引：161 万 7,589 円

水道事業会計
認定 認定第7号

村民に安全な水を提供するために使ったお金

収益的収入：5 億　413 万 9,568 円
収益的支出：4 億 4,127 万　414 円
資本的収入：　1,450 万円
資本的支出：　6,616 万 3,034 円

予算の使い道、議会が厳しく審査しました。

平成 28 年第 5 回定例会決算審査報告

一　般　会　計

①保育所使用料の過年度分未収入済額が累計で約 400 万円あり、その処理方法について早急に検討すること。

②南上原地区の急激な人口増加に伴い、近い将来中城南小学校の受け入れ能力に限界が生ずることが予測される。校区変更の議論も上がっていることも踏まえ早期の対応を求める。

③通学バス運行管理に際しては、部活生徒等各村内事業への有効活用を図るべきである。

④学校給食共同調理場の教育総務課長による所長職の兼任は適切ではない。

⑤福智町児童交流派遣事業の継続、活性化を図るため組織の再編等も検討すべきである。

⑥各種補助団体の加盟や活動の衰退が見られる。行政担当課による取りまとめ、課題解決に向けた対策を講ずる必要がある。

⑦観光客の誘致促進も、イベントによる一時的な増ではなく、長期的・継続的に行う事業の取り組みを目指すこと。

国民健康保険特別会計

①国民健康保険税の収納率（95.67％）については、県の収納率目標の 93.8％を上回っており、今後も継続した取り組み強化を図り、収納率の向上に努めるべき。

②住民の健康意識を高めるためにも、健康生活推進委員の増員を図り強化すべき。

後期高齢者医療特別会計

①更なる予防事業の強化、充実を求める。

公共下水道事業特別会計

①公共下水道への接続を積極的に推進し、有効な対策を行う必要があり、検討し実施すべきである。

土地区画整理事業特別会計

①南上原地区土地区画整理事業の早期完了を目指すこと。

②南上原地区土地区画整理事業での、土地換地作業も計画的に行うこと。

汚水処理施設管理事業特別会計

①今後、施設及び配水管等の整備改修計画を策定し、老朽化を見据え資金計画を行うこと。

水　道　事　業　会　計

①老朽施設の早期改善と漏水量減に取り組むこと。

②本村の人口増加に伴う、施設管理に対する中長期計画を実行し、貯水槽も計画的に取り組むこと。

第 5 回定例会に上程された議案、報告、同意、諮問、陳情、意見書

可決 議案第 34 号　特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

可決 議案第 35 号　中部広域市町村圏事務組合の規約の変更

可決 議案第 36 号　平成 28 年度一般会計補正予算（第 3 号）

補正額：2 億 8,158 万 5 千円　　総　額：70 億 2,673 万 7 千円

可決 議案第 37 号　国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）

可決 議案第 38 号　後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）

可決 議案第 39 号　土地区画整理事業特別会計補正予算（第 1 号）

可決 議案第 40 号　公共下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）

可決 議案第 41 号　汚水処理施設管理事業特別会計補正予算（第 1 号）

可決 議案第 42 号　水道事業会計補正予算（第 1 号）

可決 議案第 43 号　平成 27 年度水道事業未処分利益剰余金の処分

可決 議案第 44 号　ハブ対策防除壁整備工事請負契約

可決 議案第 45 号　久場前浜原線建設工事（2 工区）請負契約

報告 報告第 9 号　平成 27 年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告

報告 報告第 10 号　平成 27 年度決算に係る健全化判断比率

報告 報告第 11 号　平成 27 年度決算に係る資金不足比率（土地区画整理事業特別会計）

報告 報告第 12 号　平成 27 年度決算に係る資金不足比率（公共下水道事業特別会計）

報告 報告第 13 号　平成 27 年度決算に係る資金不足比率（水道事業会計）

同意 同意第 5 号　固定資産評価審査委員会委員の選任　玉井　恭春 氏

同意 諮問第 1 号　人権擁護委員の推薦につき意見を求める　大城　盛文 氏

採択 陳情第 7 号　地元産品奨励及び地元企業優先使用（要請）

採択 陳情第 8 号　県産品の優先使用（要請）

採択 陳情第 9 号　改正農業委員会法に係る条例対応等について

採択 陳情第 10 号　助成農業者の農業委員への登用促進について

採択 陳情第 11 号　子どもの貧困対策にとりくみ、よりよい教育環境整備を求める陳情

採択 陳情第 12 号　「労働安全衛生委員会」の設置を進め、学校労働環境の改善を求める陳情

継続審査 陳情第 13 号　過度な競争になっている「学力推進運動」を改め子どもたちに豊かな教育を求める陳情

採択 陳情第 14 号　学校における「集団フッ化物洗口導入」に反対する陳情

採択 陳情第 15 号　「30 人以下学級」早期完全実現と学習・特別支援員の増員に関する陳情

採択 陳情第 16 号　「幼稚園・就学前教育」義務教育化・無償化に関する陳情

採択 陳情第 18 号　村内建設企業の受注機会の確保が図られるよう議会の決議を求める陳情

採択 意見書第 6 号　名護市辺野古、米軍新基地建設及び、東村高江、米軍ヘリコプター離着陸帯（ヘリパッド）建設工事強行に伴う過剰警備に抗議し、機動隊の即時撤退を求める意見書

採択 意見書第 7 号　米海兵隊の戦闘攻撃機 AV8B ハリアー墜落に対する意見書

採択 決議第 5 号　米海兵隊の戦闘攻撃機 AV8B ハリアー墜落に対する抗議決議

採択 意見書第 8 号　「義務教育費国庫負担制度」の堅持・拡充に関する意見書

採択 意見書第 9 号　教職員定数法改正等による「30 人以下学級完全実現」のための意見書

採択 意見書第 10 号　「幼稚園・就学前教育」義務教育化・無償化の早期実現」のための意見書

村政を問う！

一般質問

平成28年 9月定例議会

※質問者が会議録から要約した原稿を編集しています。

金城 章 議員

南上原ハンタ道街灯設置を

議員 南上原地区のハンタ道（歴史の道）では朝夕散歩やジョギングをする多くの村民がこのハンタ道を利用しており、また、朝夕暗い時間の利用者も多くいますので、安全面でも街灯の設置をしてほしいが予定はあるか。

都市建設課長 南上原地区のハンタ線への街灯設置は29年度設置予定で作業を進めています。

議員 ハンタ道の樹木が枯れ、倒木のおそれが数箇所あります。樹木の植え替え等対応はどう考えているか。

都市建設課長 南上原の土地区画整理地区内のハンタ線については枯れている木は今40本程あります。それについては植え替えをします。別の箇所はまだ予定はないです。

議員 南上原地区以外も早目の検討して下さい。私は以前より南上原地区への公的な施設、例えば児童館等の分所設置を提案していますが、その計画はありますか。

総務課長 分所的な施設を南上原地区への設置についてですが、現在役場本庁舎建設を進めている段階ですので分所の計画は今のところございません。しかし2万人を超えた本村において南上原が35％を占めることを考えますと、今後公的施設は検討していかなければならないと考えております。

道路改良

議員 安里中央線と潮垣線との交差点改良はどう考えているか、また、潮垣線の各交差点の改良計画と道路工事計画はあるか。

都市建設課長 今年度中に3ヶ所、吉の浦潮垣線、屋宜被留線、安里中央線の交差点についてはポストコーン改良しましたが、安里中央線は一時停止の規制位置の変更要請されていますので、その結果を出してからの対応を考えています。村道潮垣線では北浜から浜区において交通安全対策工事として歩道を片側カラー化を進めています。

新庁舎建設場所決定

議員 現庁舎は地震で倒壊する危険性の高い庁舎です。早目に設計と新庁舎建設の考えがあるか。

村長 庁舎建設について結論から申し上げますと現在絞り込んだ地域に庁舎建設を進めさせていただきたい。いろいろな意見ありますが、災害・利便性等網羅した形で安心して住民が利用できる形の庁舎を目指していきたいと思っています。

総務課長 7月25日に議員の皆様に建設場所の説明はしました。今後は基本実施設計を年内にする予定です。

※他に南上原公園問題、事務委託者契約、安里中央から国道329号へのセンサー信号機の設置についての質問がありました。

大城 常良 議員

公立保育所臨時職員（保育士）の待遇改善

議員 臨時保育士は2年の雇用期間を目安に入れ替えているが、公立保育所の質の向上と安定した運営を図るためには臨時保育士の雇用期間の延長と処遇の改善が必要だと思いますが。

福祉課長 臨時職員の任用期間は保育士以外も2年間という期間であり、その中で待機児童も多く、保育士不足も含め全体的な臨時職員の任用期間を延長することで進めています。

村長 保育士の待遇改善、保育士の確保という意味では喫緊の課題として、雇用形態も含めた改善に向け、来年度いろんな形であらわれてくると期待しています。

議員 福祉というのはいつも言っているとおり、費用対効果ではなく、本村の将来的に発展する中での投資だと思いますので、安定した職員の採用を進めていっていただきたい。

認可外保育園の補助金と待機児童

議員 認可外保育園の厳しい運営に対し行政から補助金の拡充が必要だと思うが、また、待機児童が、年々多くなっているが原因は把握しているか。

福祉課長 経営状況が厳しいという話を園長さんから伺いました。それでも自分たちの経営方針、特色を生かしながら子どもたちのために一生懸命頑張っているという話を聞いています。補助については今後、検討していきたいと思います。待機児童については、定員数を年々増やしていますが、出生数も増加し、他市町村からの子育て世帯の転入が多くなっているため増えています。

議員 認可園も認可外も含めて、国家資格を持ち、さらに子どもの命を預る仕事にしては、仕事量の多さ、賃金の低さ、そして将来の事を考えれば不安も多いと思う。子どもの安全、安心、命を守るためには保育士の処遇改善を強く要望します。

新庁舎建設

議員 9月23日に住民説明会がもたれ、村民多数が参加されましたが、今一度、村の考え方と進捗状況を伺います。

総務課長 現在、地権者と面会し、新庁舎建設場所の経緯を説明し、ご理解を得る作業を行っており、今後、理解を得ながら基本設計、実施設計の発注準備をして年内には、委託業者を決定する予定です。

議員 議会としてはまだ場所の決定は承認していないんですよ。建設場所は村民の多くが納得したところでないとできないと思っています。村民の理解を深めるためにもメリット、デメリット、そして災害に対しても十分な説明を行い、徹底した情報公開と説明責任を果たしていただきたいと思います。

※他に吉の浦公園クラブハウスについての質問がありました。

仲座　勇　議員

認知症の現状は

議員　認知症、行方不明者の村内の現状と対応策を伺います。

福祉課長　認知症の行方不明者は全国で1万2200人余りで3年連続で1万人を超えている状況で村内での認知症の行方不明者の報告はありません。認知症予防対策として、ちょ筋体操で筋力トレーニングのほか認知症に特化した体操、あとは脳トレということで琴教室を実施し、認知症サポーターの要請を行い認知症の知識を友人や家族その人たちに伝える役目をしてもらっています。

移動交番

議員　宜野湾署の地域課と協議し早めにできることから始めようと思ってまいりましたが現状と対応は。

住民生活課長　糸蒲公園内にパトロールカーの駐留所を設置する件について宜野湾警察署及び都市建設課と協議した結果、位置を決定しまして、現在都市建設課のほうで整地及び舗装工事を行っています。看板についても発注済みでありますので10月中には完了する見込みです。

地域防犯のためのパトロールカー駐留所

護佐丸資料館

議員　5月30日に開館した図書館の図書が少ないように思われますが、増やす方法等を伺います。

村長　護佐丸歴史資料図書館は、まだ開館して間もない為、利用状況も図書も多少少ないと認識しております。これから広めることで大いに活用していただき、地域の憩いの場にし、みんなで楽しめる図書館にしていく事で利用度が今後広がっていくのではないかと思われます。

教育長　護佐丸歴史資料館の利用状況は6月9611人、7月7415人、8月6283人となっております。村単費で一般図書を一気に増やすことができない財政状況で毎年財政側と調整を図りながら予算確保に努め、村民に合った資料を年次的にふやしていきたい。

議員　休憩スペースを活用し、軽飲食を提供できる場を設けることを提案します。

比嘉　麻乃　議員

自治会加入

議員　自治会はよりよい地域づくりや住みよい村づくりには重要な役割だと思います。本村での加入促進のための取り組みと本村の自治会加入率を伺います。

企画課長　自治会の活性化が村の活性化、発展につながるものと考えられるが本村ではこれまで、自治会加入促進については力を入れていませんが今後は村として加入促進に取り組んでいきたいと考えています。本村の自治会加入率は平成28年3月末時点で45.1%です。

公園の草刈り作業

議員　南上原自治会では地域の交流を深めるために草刈りをしてきたが6ヶ所すべての街区公園となりますと大変です。役場で定期的に行うことは可能ですか。

都市建設課長　自治会だけでの街区公園管理は困難と考えています。定期的に現場を見ながら公園利用者に支障のないように管理してまいります。ただ年2回の一斉清掃は地域での除草作業をお願いします。

議員　自治会も地域交流を深め、いつかは村の力をかりずに地域のみんなで楽しく草刈りが出来るよう頑張ります。

上地区への中学校建設

議員　上地区の人口増加によって将来的に上地区にも中学校が必要だと思いますが教育委員会としてはどう考えていますか。

村長　上地区に中学校があることが理想だが時期的なことはこれから検討されるべき事項だと思っています。

教育長　中城中学校は現在、空き教室、普通教室に転用可能な多目的教室もあるため、現在新たな中学校建設の計画はございません。人口増加を見据えながら検討してまいります。

議員　スクールバスの下校時の最終便は16時53分となっていて部活動をしている生徒は保護者が迎えるか、迎えに行けない家庭は歩いて帰宅するしかありません。これを解消するために下校時の便をもう一本増やす考えはありますか。

教育総務課長　3学期あたりに試験運行出来るよう調整します。

議員　子供たちの安心・安全のためにも1日も早いスクールバスの増便と上地区に中学校開校をお願いします。

新垣　博正　議員

護佐丸歴史資料館の基本的展示方針

議員　中城歴史展示室、基本的展示方針について所見を伺います。

生涯学習課長　基本方針として、村民が地域の歴史を学び楽しみながら人材育成ができ、コミュニケーション機能を兼ね備えた施設にする。子ども達にも理解しやすい解説に配慮しつつ琉球史が学べることを基本にしています。

議員　本村の時代の移り変わりを表す地図を展示してありますが、表現方法について500年前と現在の比較が同じ地図が用いられています。どのような考えに基づくものなのか。せっかく「琉球国惣絵図」も展示されているにもかかわらず過去の海岸線の様子も比較できるようにしたほうがより正確なのではないかと思いますが。

生涯学習課長　村の成り立ちとして17世紀の「中城間切り」から「村」へ行政区の変化を理解してもらう意味で現在の北中城村、宜野湾市と沖縄市の一部を含む域を表すには現在の地図を用いたほうがイメージしやすいと考えました。

議員　護佐丸時代の絵の中に兜が出てきますが、実践で使用された根拠や当時の人が防具を装着していたという確証はあるのか。それとも想像の域なのか。

生涯学習課長　時代考証は城跡の発掘調査において14世紀～15世紀の地層より城内各所から兜の一部、武具出土例があり、戦で使用されたのではないかと考えられますが、確証ではなく想像になるかと思います。

議員　日本史でいう戦国時代は琉球史においてはすでに護佐丸時代は終わり、大半が第二尚氏王統だと思われます。「兜、武具＝いくさ」という時代考証は飛躍しすぎるのではないか。それよりも琉球王国が、アジア全域に大交易時代が華々しく展開していたことを主にした展示企画を要望し今後も正確な歴史考証を続けてくださることを期待します。

音楽専科教師の配置を

議員　音楽専科を担当する教師が中城小学校、津覇小学校で配置されていないようですが、音楽授業の重要性を鑑み臨時でも配置検討する考えはないか。

教育長　学校における教職員の定数は、教職員配置基準に基づいて決定されます。今年度、両校とも13学級となっており専科を担当する人数は1名のみとなります。学校運営上、校長の裁量で理科専科と音楽専科のどちらにするかを決める。その際に実験器具の準備、片付け、実験数が多いため安全面を考慮し理科を選択する学校が多いようです。今後、音楽ができる教諭の配置を教育事務所に求めていきたいと考えます。

仲松　正敏　議員

中城村健康づくり

議員　近年村民の健康意識が年々高まりつつあるが、村として新たな健康づくり事業の計画や、これまでの健康づくり事業の課題は。

健康保険課長　平成28年度より40歳の記念総合がん検診と、アミノインデックスがん、リスクがん、リスククリーニング検査を実施し、疾病の早期発見、早期治療に取り組んでおります。課題として、特定健診及び保健指導の受診率が向上していかない部分があります。

議員　保険税未納者は特定健診の対象となるのか。また、特定健診の対象を外れた年齢層の人たちに対しての対応は。

健康保険課長　保険税の未納者の方も検診を受けることができます。本村においては39歳以下、75歳以上それと20歳から39歳の方についても、集団健診及び個別の検診が受診できます。

子どもの健康づくりは

議員　近年、学校給食は安全・安心が問われていますが、学校給食において、どのような安全対策を構築されているか。

教育総務課長　施設では月2回、委託業者による衛生検査を行い、職員は月2回の検便検査、毎朝の健康チェックを行っております。

議員　毎日搬入される生鮮食品及び調理済み食品の検査の対策のあり方と検食について伺います。

教育総務課長　食品の検査は委託業者によります。月2回の食材検査を行い、調理済みの検食につきましては、運営主任、栄養士で検食を行い、学校では学校長による検食が毎食行われております。

有害鳥獣被害対策は

議員　全国でカラスの被害が拡大している中で、本村では、カラスの被害対策として今後どのようにして考えているか。

農林水産課長　本村においては、現在のところ、カラスによる被害についての確認はしておりませんが、今後、被害が出るようであれば、カラスの駆除対象とした被害防止計画を策定し、補助金を活用した被害防止を図っていきたいと考えております。

議員　本村ではビニールハウス栽培によるトマト、マンゴーが多くつくられています。カラスによる農業被害のことを考えると、農家の方々への注意喚起、指導の取り組みは。

農林水産課長　現在、カラスによるビニールハウス等の被害確認はしておりませんが、やはり今後、そういう状況が発生すれば、村としても農業者に対して注意喚起を行っていきたいと考えております。

伊佐　則勝　議員

待機児童の解消

議員　今年4月1日時点で、本村の待機児童数が86人で対前年では64人増になっています。待機児童解消に向けての施策も充実してきたと思慮するが、子育て世帯の人口増による利用申込者数の増加や保育士不足、あるいは他に要因があるのか。

村長　潜在的な待機児童を含め、その実態に近い数字が出てきたと予想されます。認可園を基本とした待機児童解消の政策を推進し、実態に近い待機児童の数を数年以内にはゼロに持っていきたい。

福祉課長　南上原土地区画整備に伴い、子育て世帯の転入が多く全体的に申込者が増えている事が主な要因と思います。今後、園児数に応じた保育の受け皿を確保し、平成31年度までには待機児童ゼロ宣言ができるように努めていきたい。

奥間斜面部分の県との協議経過

議員　奥間喜納原斜面部の違反開発行為等や奥間自治会からの要請書について、その後の県の関係機関との協議の経過報告を伺う。

都市建設課長　6月27日にござまる陸上競技場のクラブハウスにおいて、県の開発関係部署と「森の郷おくま」と協議を行いました。計画の目的と概要の確認、開発範囲についての、今後の対応について聞き取りを行い、以前から要求している測量結果の提出が遅れている理由を確認し、指導を行いました。その結果、工程表の提出を行う事。7月末から8月頭までに現地確認を行う事。測量後に伐開の平面図、伐開区域の境界の立会いを行う事。是正をするまでの間は安全対策を行う事を確認しました。

議員　南部林業事務所からの指導等についてご報告願います。

農林水産課長　9月5日に南部林業事務所とともに事業者代表と現場責任者に対し、直接文書での指導を行い、直ちに伐採箇所の測量を実施して、無届伐採の面積を確定し顛末書により報告するよう指示をしております。

議員　今後とも住民の安心・安全の確保のため、県の関係部署との連携を密にして、継続して協議の場を持って「森の郷おくま」の不法開発行為に対処願います。

集落環境の整備

議員　給食センター裏側まで接続する排水路の件ですが、個人敷地内を通る現状を考慮した上で早急な排水路整備を再度要望するが、対応は。

都市建設課長　排水路整備については、個人の敷地内を通る巣堀り排水の形態ですので、早急に整備が必要だと考えておりますので、年度内施工を目指して予算確保に努めます。

新垣　貞則　議員

久場地区の施設整備

議員　賀武道線の施設整備（スリップ防止・地盤沈下等）の対策は。

都市建設課長　賀武道線のコーナー部は、議員・自治会からの要望もありますが、単費での予算確保が厳しく、すぐに対応することができなくなり、大変申しわけなく思っています。地盤沈下に関しては、沖縄県中部土木事務所が賀武道線一帯の観測を行っています。現在、経過観測中で、特に差異がないという報告を受けています。

議員　第1児童公園（バックネット・遊具等）の取り組みおよび久場前浜原線の進捗状況は。

都市建設課長　平成29年度に公園長寿命化計画の中で概算要求としてはバックネット、遊具は滑り台、ブランコを検討しています。久場前浜原線は、平成28年度に工事を70％進捗させ、平成29年度に完成を目指しています。

久場前浜原線工事

吉の浦公園内の施設整備

議員　野球場（ベンチ・役員室兼倉庫）の設置及び村民体育館、サブアリーナのクーラーの設置は。

村長　一括交付金のチャレンジはどうなのか、次年度に向けて協議をして、優先的に何から取り組むべきなのか、吉の浦公園施設全体を網羅できるような整備計画を立ててやっていきたいと思っております。

健康なまちづくりにするビジョンは

議員　スマートウェルネスシティ構想とは。

健康保険課長　健康かつ生きがいを持ち、安心で豊かな生活を営む、そのような健・幸をまちづくりの中核に位置付け、自然と歩いてしまい、知らない間に健康になれる新しい都市モデル構想です。

議員　スマートウェルネスシティ構想を実現する為に、最近、護岸をウォーキングする人が増えています。吉の浦公園から屋宜の護岸、約1km、未整備ですけど、県と調整をしてこの屋宜地区の護岸整備する方法はないですか。

農林水産課長　今、議員がおっしゃっているのはホーメルの下だと思います。農林水産省の事業に該当すれば、沖縄県中部農林土木事務所に要請していきたいと思います。

議員　私は、健康で長生きできるのは、人生の最大の徳をなすものであると思います。村民一人ひとりが暮らせる社会を目指して今後の政策に取り入れて下さい。

新垣　善功　議員

新庁舎建設

議員　新庁舎建設に向けての進捗状況、建設資金計画、今後の村財政への影響はどうなって行くのか伺います。

総務課長　7月25日に議員の皆さんに建設場所の説明をした後、地権者と交渉を開始しているところであります。建設費については、建設検討委員会が算定した18億円で今のところは考えています。

企画課長　実施の建設費用が不確定である時点での財政計画は難しいため実施設計を通して建設費用を算出した上で将来の本村財政に及ぼす影響を考えていきたい。できるだけ建設費用の抑制に努めていきたいと考えています。

議員　9月23日の村民説明会を聞いていますと、建設場所の決定経緯のみで、資金計画、今後の村財政への影響についても説明すべきで、また、検討委員会は村民からの意見を聞く公聴会も開催せずに決定することは村民不在であり、9月23日の村民説明会は不充分であり今後1・2回説明会を開催すべきであることを指摘します。

事務委託者（自治会長）の資質向上について

議員　村として事務委託者（自治会長）の資質向上のためにどの様な取り組みをしているのか伺います。

総務課長　月2回の連絡会議において村事務委託者の24項目について話し合いをしていますが、事務委託者の研修等は実施していません。

議員　事務委託契約書には24項目の事項がありますが、ほとんどが各課の補助的事務内容になっているが、契約内容はほとんど履行されてなく、委託料（給与）は臨時職員以上でしかも、臨時職員はボーナスは支給されてないが、事務委託者は年間40割支給されていることに疑問を感じる。事務委託者研修を実施して資質向上を図り住民サービス向上を推進すべきではないか、そのことがひいては地域の活性化にもつながると思いますので、事務委託者の資質向上のための研修を実施して活用を図ることを指摘します。

※他に

1．村民健康づくりについて

健診率の向上により早期発見、早期治療、軽運動により健康長寿の村づくり。

2．吉の浦会館、護佐丸歴史資料図書館周辺の交通量増加に伴う交通事故防止対策についての質問もありました。

安里ヨシ子　議員

ゴミ処理場建設

議員　現在の青葉苑の処理能力は40㌧24時間仕様、処理能力に応じたゴミは集まりますか。

住民生活課長　供用開始初年度の可燃ゴミ26．86㌧現在は37㌧でおよそ1.4倍の増、稼働日数を増やすことで現状は安定した焼却状態です。

議員　適正なダイオキシン対策がなされていますか。

住民生活課長　廃棄物処理法及びダイオキシン類対策特別措置法の規定に準じて適正に処理を行っています。固形燃料スラグに関しては福岡にある山元還元処理のできる業者に委託しています。

議員　ダイオキシン類による環境汚染は現世代のみならず子や孫の世代まで影響を及ぼすといわれ、自然の動物の生態系を破壊するといわれており、その可能性が極めて高くそれだからこそダイオキシンの環境汚染が世界的に大きな問題になっているといわれています。しっかりとダイオキシン問題に取り組んでいってほしいと思います。

議員　青葉苑の建設当時、米軍のゴミを受け入れ灰溶融炉設置を条件に58億円の予算の補助が出たと思いますが、現在の状況は。

住民生活課長　五種の分別が米軍ではできないという事で搬入されていません。ゴミ処理場の広域化が持ち上がっていますが、進捗状況について伺います。

村長　浦添、北中城、中城と広域化が順調に進んでいます。早目に基本合意書など締結して進めていきたい。

住民生活課長　広域化で計画しているのが200㌧、平成27年は大型商業施設が開店することもあり、今後のゴミの搬入量が処理能力を超える予想。この状況に対応するため浦添と情報交換を実施しております。施設の建て替え及び広域化を検討していた浦添と、中北清掃組合の検討課題が一致したので、広域化に向けた協議を進めています。

議員　青葉苑の跡地利用について住民の意見もとり入れ世界遺産中城城跡にふさわしい景観を議論しながら進めていってほしい。

青葉苑の外観。

仲眞　功浩　議員

ブックスタートの実施

議員　沖縄県内のブックスタートの実施状況はどのようになっているか。

生涯学習課長　41市町村の内、6割の25市町村で実施をしております。

議員　3年前にもブックスタートの重要性と早期導入を要望しましたがどのようになっているのか。

村長　市町村によって、いろんなやり方があるようですので、担当課としっかり協議を重ねて、これはやる予定でございます。

特区と歴史認識の格差

議員　教育特区の指定を受けた「ござまる科」が区切りの3年目になっておりますが、見直しを考えているか。

教育総務課主幹　特区申請をしてまだ3年しか経過しておりませんので、29年度以降も継続していきたいと考えております。

議員　琉大附属小・中校を含め、約300名の子ども達が村立小・中校以外の学校に通っている。「ござまる科」の設置で、同じ村内に住んでいながら歴史観の違う多くの子ども達が育ってしまう。子ども達に郷土歴史に対する認識の格差を生じます。私は、これも大きな課題だと認識するがどうか。

教育長　もし要求があれば（副読本の）無償配布を考えております。それによって多少なりとも近づくことができるのではないかと考えております。

議員　どうしても特区でなければダメなのか。6ヶ年を通してやるボリュームがあるのか。護佐丸歴史資料図書館を活用して地域で対応できないのか。今回の見直しを機に是非考えて頂きたい。特区の実施の仕方によっては、較差をかえって広げてしまうという問題もあります。その辺は十分認識して評価や見直しを行っていただきたい。

認可外保育所への補助拡充

議員　ハード&ソフトを含めた認可保育所及び認可外保育所への平成27年度決算額はどのようになっているのか。

福祉課長　認可保育所に合計で5億4800万円、認可外保育所には1430万円であります。

議員　認可外保育所の園児一人ひとりに対する村単独の補助事業にはどのようなものがあり、補助額はいくらか。

福祉課長　村単独事業としての補助はありません。

議員　同じ中城村に住む子どもでありながら認可か認可外かで、子どもたちに対する補助額に格差が大きすぎる。格差是正、認可外保育所への補助拡充を強く要求する。

平成27年度事業の視察

奥間土砂崩れ現場

久場地区土砂崩壊防止事業（伊舎堂地内）

護佐丸歴史資料図書館

泊ソーラーパネル設置現場

青森県南部町 達者村事業について学ぶ

青森県南部町行政視察として、南部町の達者事業内容について研修しました。「達者」とは、健康で長生きし物事に熟達することを意味し、来訪者も町民も交流することにより共に達者になることを目指します。豊かな地域資源を活用した達者村のさらなる来訪者との交流を促進するため実施している主な事業として、①「観光農園」②「産地直売所」③「ホームステイ」の３つの事業をベースに活力あるまちづくりを図っています。

通年農業観光の推進

南部町の特産である果樹（さくらんぼ、桃、梨、梅、ブルーベリー、ゼネラル・レクラーク、いちご、米、にんにく等）の収穫体験を実施するため設立した「達者村農業観光振興会」を中心とした事業「四季のまつり」を展開しています。

四季のまつり案内パンフレット

直売施設の名川チェリーセンター

産地直売所

「さくらんぼ狩り」にやってくる観光客にお土産を買ってもらおうと、農家の女性による特産品の産地直売所や運営団体が誕生し、「名川チェリーセンター」と名付け年間３億円を売り上げて収入を得ています。

類似の取り組みとして、「そばの里けやぐ」、「ふくちジャックセンター」等がオープンしました。

ホームステイ事業

小学生から高校生までの農業体験修学旅行や農業体験学習、大人や親子の農業体験旅行、海外からの農業体験などの受け入れを行っており、調理体験・農家の生活体験など各種の体験メニューを提供している。南部町は「自然の恵みがまちを育み誇りに満ち夢が広がるくらしの拠点づくり」を将来像としています。中城村も第６次産業の活性化を図り、小学生から高校生までの農業体験修学旅行を取り入れて、生徒達を世界遺産「中城城跡」観光の推進ができないか精査する必要があります。

写真：三八地方農業観光振興協議会農業体験ホームステイパンフレットより

研修会レポート

町村議会議員・事務局職員研修会

平成28年10月13日（木）
NBCサムシングフォー西崎

こどもの発達課題と発達支援

名護療育医療センター診療部長／小児科
講師／勝連啓介氏

幼少期の子どもは、一人ひとりが違う性格を持っており、静かな子、歩き回る子、人なつこい子、人見知りの子、それぞれに成長、発達していくうえで様々な課題があり、生活の主体は家庭と学校と「地域」ならば、積極的、定期的、継続的に連携することが重要である。

県内における発達障害児（者）支援の現状とこれからの取り組み

沖縄県発達障害者支援センター主任／臨床心理士
講師／与那城郁子氏

乳幼児健診における早期発見で、発達が気になる子など、健診後に支援が必要と判断された要フォロー率児の割合が県平均で1歳6ヶ月児20．3％、3歳児で15．4％、決して特別な子ではありません。家族の支援を含め、保健、保育、教育、福祉、での連携を深め、早期発見、早期支援、家族の不安と負担を減らせるようすべての子どもが健やかに育つ社会をめざしていきましょう。

いい栄養で、いきいき元気、認知症予防

沖縄メディカル病院副委員長・金城大学客員教授
講師／吉田貞夫氏

食べることは生きていくために必要な最も自然な栄養摂取の手段である。カラダを維持する、内臓の機能を維持する、筋肉や骨を維持する、よい食事が元気の秘訣。しかし、高齢になるにつれて栄養不良、動かない、加齢、炎症、ホルモンの変化等で筋肉の減少（サルコペニア）が起こり、運動能力の低下、転倒、骨折のリスクが高くなり、さらに認知症の発症率も高くなります。食事に気を使い、いい栄養をとっていつまでも元気で楽しく暮らしましょう。

編集後記

村民の皆様、こんにちは

9月定例議会後の議会だより発行になりますが、9月定例会は別名、決算議会とも言い、前年度、1年間の予算の執行状況、実施した事業の成果、費用対効果等をさまざまな観点から審査し、村民が納得できる政策が行われているか、監視、及びチェックを厳しく行い、議員全員が各委員会で議論を重ね、さらに、本会議で最終的に認定、承認、採択等を決定する場です。同時に予算、条例等の議案審議も行われます。議会開会中はいつでも傍聴可能であり、行政と議会との議論をぜひ、拝見して見てはいかがでしょうか、今後とも村民ファーストで見たい、読みたい、聞きたい、議会だよりを目指してまいります。

（大城　常良）

議会だより編集委員

石原　昌雄
新垣　貞則
比嘉　麻乃
外間　博則
大城　常良
仲松　正敏

題字提供者

宮城愛麗（あいり）さん

コメント
自転車専用道路をつくってほしい

題字募集！

「ぎかいだより」の題字の募集をします
（ぎかいだよりの文字を横書きと縦書き）

中城村の児童・生徒のみなさん、上手いも下手も関係ありません！あなたの字のままでいいんです

お問い合わせは中城村議会事務局（☎098-895-4318）まで